

令和6年度 下水道事業会計予算の概要

令和6年(2024年)4月
札幌市下水道河川局



1 公営企業会計の特色

○公営企業会計の収支は**収益的収支**と**資本的収支**の2種類に区分されます。

【収益的収支】

- ・ 施設の運転、維持管理に関する収支
- ・ 1年間の経営成績を表す

【資本的収支】

- ・ 施設の建設・改築に関する収支
- ・ 収入と支出の効果が複数年に及ぶ

○収益的収支で生み出した資金は、資本的収支の収支不足を補うために使用します。

2 令和6年度予算の概要(収支の概要)

【収益的収支】

(消費税込、単位:億円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減	主 な 増 減 理 由
収益的収入 A	529	509	20	下水道使用料の増 一般会計負担金の増
収益的支出 B	521	507	14	委託料の増 動力費の増
差 引 A-B	8	2	6	

【資本的収支】

(消費税込、単位:億円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増 減	主 な 増 減 理 由
資本的収入 A	330	218	112	企業債の増
資本的支出 B	502	389	113	建設改良費の増
差 引 A-B	▲172	▲171	▲1	

2 令和6年度予算の概要(資金残高)

○資本的収支差引▲172億円を、収益的収支差引8億円と当年度分損益勘定留保資金等(※1)154億円で補填し、前年度からの繰越金である過年度内部留保資金43億円を加えると、令和6年度末の資金残高は33億円となります。

(消費税込、単位:億円)

区 分	令和6年度	令和5年度 (※2)	増 減
収益的収支差引 A	8	▲5	13
資本的収支差引 B	▲172	▲171	▲1
当年度分損益勘定留保資金等 C	154	154	0
小計 D=A+B+C	▲10	▲22	12
過年度分内部留保資金 E	43	65	▲22
合計(資金残高) D+E	33	43	▲10

※1 損益勘定留保資金等:現金支出を伴わない支出等(減価償却費等)によって企業内に残る資金

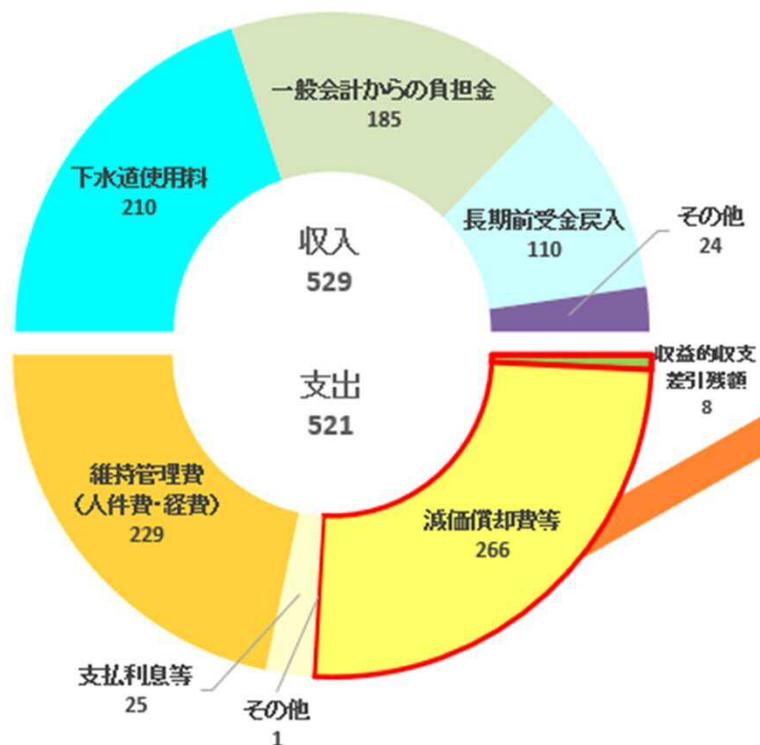
※2 令和5年度は、前年度からの繰越及び補正を含む最終予算である。

2 令和6年度予算の概要(収益的収支・資本的収支)

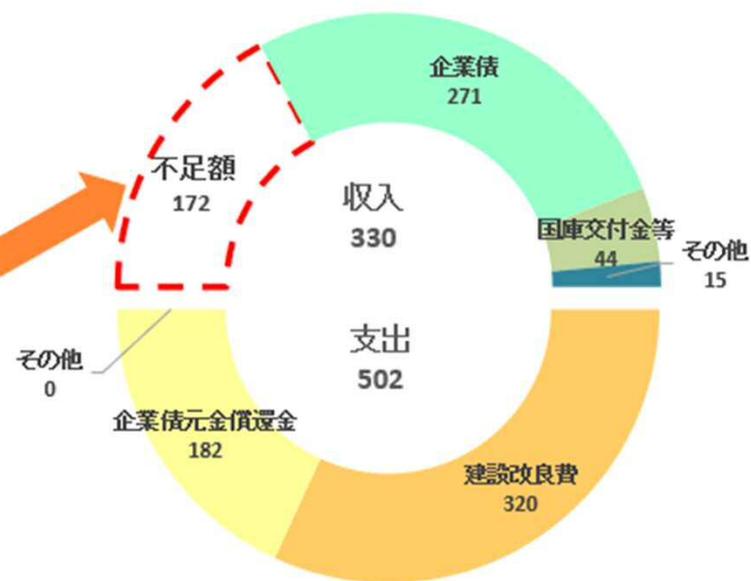
○収益的収支と資本的収支の内訳は以下のとおりです。資本的収支で発生した不足額172億円を収益的収支差引残額、当年度分損益勘定留保資金(減価償却費等)等で補填しています。

(消費税込、単位:億円)

収益的収支



資本的収支



3 令和6年度予算の主要事業

【下水道施設の再構築】老朽管の改築

- 札幌市の下水道施設は、昭和40年代から50年代に集中的に整備を進めたため、今後、耐用年数(50年)を超える管路が急増します。
- そのため、管路の劣化状態を調査し、修繕による延命化を図るか、改築を行うか総合的に判断し、計画的に対策を進めていきます。
- 令和6年度は25.5kmの改築を実施する予定であり、今後、長期的な改築事業量については、段階的に増加させていく見込みです。

下水道施設の整備状況

昭和初期に整備した下水管（老朽管）

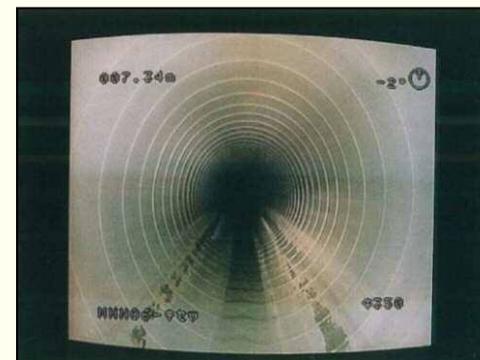


(更生前)



管更生工法による改築

管更生工法による管路の改築



(更生後)

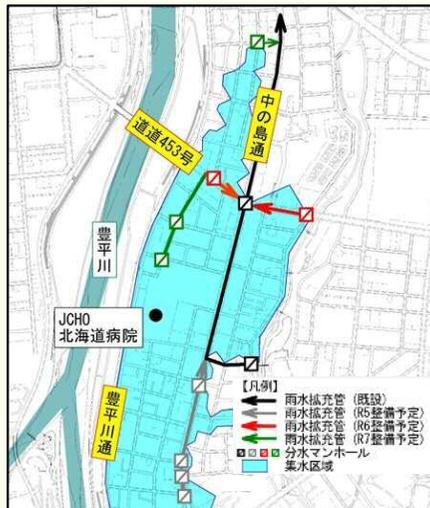
3 令和6年度予算の主要事業

【下水道施設の災害対策(雨水対策)】雨水拡充管の整備

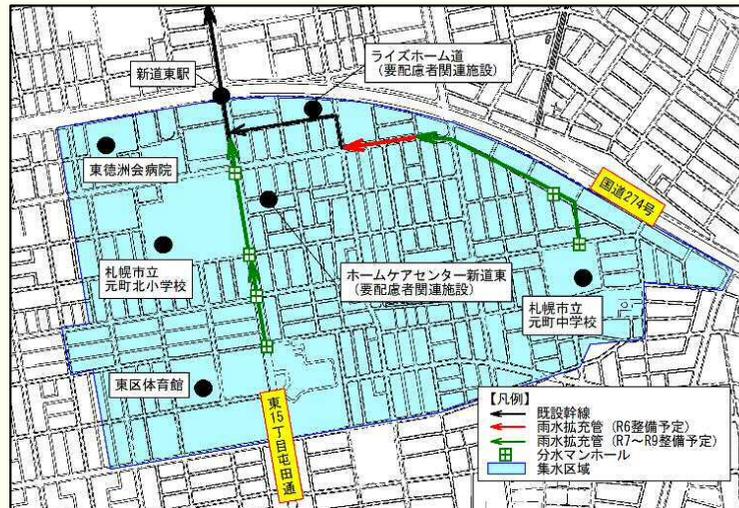
- 札幌市では、10年に一度程度の大雨(1時間雨量35mm)の排除を目標に雨水拡充管の整備を進めています。
- 令和6年度は中の島地区で 0.3km、新道東地区で 0.2kmの雨水拡充管を整備するほか、山の手地区において雨水拡充管の整備に向けた実施設計を行う予定です。

令和6年度整備箇所図

中の島地区



新道東地区



雨水拡充管イメージ図

